

UWC ISAK JAPAN

一年間のご報告

ANNUAL REPORT
2021-2022



ご挨拶



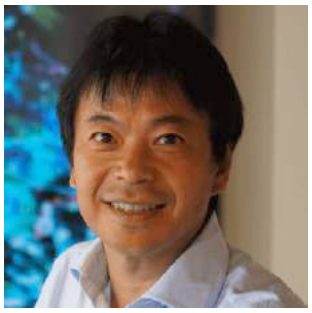
校長　ロデリック ジェミソン

この一年間、生徒たちのレジリエンス及び困難を機会に変える力に感心し勇気をもらいました。コミュニティが直面したチャレンジを乗り越えられたのも、UWC ISAK Japanを信じ続けてくださった生徒、保護者、そしてご支援者様のおかげです。心から感謝しております。

昨年、私たちのコミュニティは様々な試練を乗り越えました。時には非常に辛いこともありましたが、コミュニティとして団結し、そしてお互いをより深く理解しながら、大きな強さを得ることができました。変わりないご支援、心から感謝申し上げます。



代表理事　小林 りん



発起人代表　谷家 衛

UWC ISAK Japanの全員が学校の使命とビジョンにコミットしていることを非常に誇りに思います。この1年間の生徒や卒業生について見聞きした話は、UWC ISAK Japanのミッションをまさしく体現しております。いつも私どものコミュニティをご支援くださり、ありがとうございます。







一年間のふりかえり



2021.7　サマースクール

2020年は新型コロナによって中止となりましたが、2021年は国境規制にもかかわらず28カ国から参加者が集まり、感染者を出すことなく、13日間のプログラムを実施できました。生徒たちは「多様な世界における言語」「ソーシャルアントレプレナーシップ」「リーダーシップ」「文化・アイデンティティと多様性」「デザイン思考」という5つのテーマに取り組みました。

2021.8　ISAKx 2021-2022年コース開始

オンラインプログラムISAKxは、新型コロナによるパンデミックの影響を受けず、26カ国72名の生徒と共に2年目を迎えることができました。2021-2022年は、「リーダーシップ」「社会・政治」「環境問題」「科学的思考」の4つのクラスを開講しました。



2021.9　UWCデー

UWCデーは、UWCの理念と価値観を世界中の加盟校で祝うもので、毎年9月21日の「国連国際平和デー」に合わせて開催されます。今年度は、「Reimagine tomorrow（明日を再創造する）」をテーマに、世界各国のUWC校にてさまざまな祝典が行われました。



2021.10　秋のプロジェクトウィーク

UWC ISAKの新年度のスタートはいつもエネルギーに溢れています。秋のプロジェクトウィークは、入学したばかりの10年生にとって、リーダーシップについて学ぶ良い機会です。今年は軽井沢にあるライジングフィールドでキャンプをし、リーダーシップとは何か、グループアクティビティの体験を通じ学びました。



2021.11　11年生転籍

2021-22年度は、例年になく困難な年となりました。パンデミックによる日本の国境規制のため、外国籍の新入生をキャンパスに迎え入れることができなくなったのです。11年生にとっては、IBディプロマ取得が厳しくなることから、断腸の思いで他のUWC校へ転籍させることとなりました。多くはUWCタイ校へ、他の生徒たちはUWCドイツ、UWCアメリカ、UWCインド、UWCシンガポールにそれぞれ転籍しました。



2021.12　ウィンタースクール

2021年のウィンタースクールには、スタッフを含め17カ国から40名が集まりました。「デザイン思考」に加え、新たに「未来変革プロジェクト」と「グローバルコミュニケーション」のテーマについて取り組みました。毎日午後には、ハイキング、アイススケート、そして軽井沢ならではのウィンタースポーツであるカーリングなどの野外活動を楽しみました。



2022.1　インターナショナル・デー

1月26日、生徒たちは寒さをものともせず、インターナショナルデーを祝いました。今年は例年と異なり、外国籍の10年生が入国できておらず、11年生の外国籍の生徒も既に他のUWC校へ転籍している状況下での開催でした。この日は私たちとって、多様性こそが私たちの強みであることを思い起こす大切な日となり、オンラインでしか参加できない生徒達をできる限りサポートをしようと誓いました。



2022.2　国際色豊かな10年生が来日

数ヶ月に及ぶ長い待機の末、多くの方々の後押しとサポートにより、海外から10年生がついに日本に到着しました。彼らが加わったことでキャンパスの雰囲気が大きく変わり、友人や教員と「リアルに」会えたことを互いに喜び合いました。



2022.3　春のプロジェクトウィーク

今年の春のプロジェクトウィークは、日本全国で開催できました。11年生のシンバとミツキは、UWC ISAKで実施した「24時間レース」の発祥地である広島インターナショナルスクールを訪問し、湯﨑広島県知事（写真）にお会いする素晴らしい機会を得ました。10年生は、自分の興味のある分野を探求し、専門家の方々とオンラインや日本各地で会うことができました。



2022.4　ザイード・サステナビリティ賞の授賞式

環境や社会のサステナビリティを実現するための当校のイニシアチブが、ザイード・サステナビリティ賞に輝きました（東アジア・太平洋地域の「グローバル・ハイスクール」部門にて）。10万ドルの賞金は、UWC ISAKをより持続可能な学校にするために使われます。受賞メンバーの殆どが2022年に卒業するため、この賞金と計画は後輩に託されました。



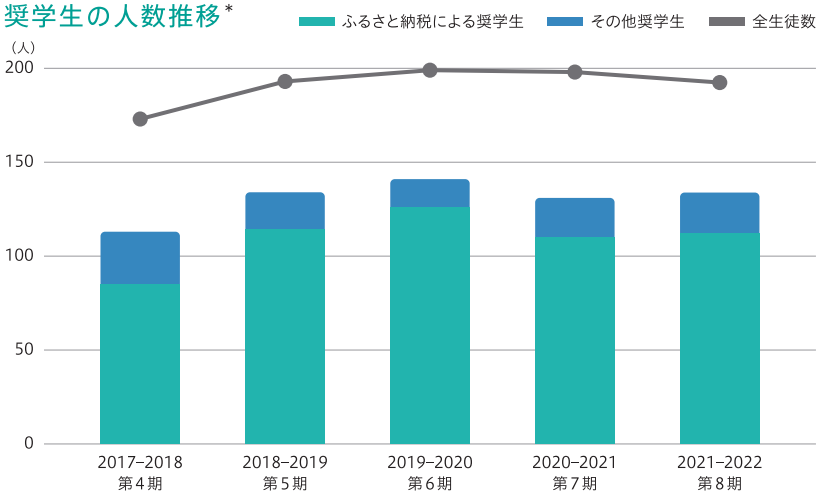
2022.5　卒業式

今年は71名の生徒が卒業しました。59名の学生が2022年秋に、2名の学生が2023年春に大学に入学予定です。残る10名は、別のプログラムに参加するか、自分の才能や興味を探求するために、ギャップイヤーを選択しました。

ご支援者の皆さまへのお礼及びご報告

いつも多大なるご支援、ありがとうございます。
当校では、全体の7割以上の生徒に家族の経済状況に合わせた返済不要の奨学金を給付しております。2021年は、ふるさと納税により全体の6割の生徒の奨学金がカバーされており、ふるさと納税は当校にとって最も大切なご寄付となっています。長引く世界的パンデミックの影響で、生徒及びコミュニティ全体にとって最もチャレンジングな年となりましたが、困難な中であっても前向きに前進できるのは、ご支援者さまからの温かいご支援のおかげです。

奨学生の人数推移*



* 奨学生はふるさと納税やその他ご支援により全額または部分奨学金を受けている生徒となります。

2021年会計年度　教育活動収支報告書

項　目	金 額（単位:百万円）
学生生徒等納付金	980.10
授業料、寮費、施設設備資金、入学金	976.54
入学検定料	3.56
寄付金	1,293.82
市町村補助金（ふるさと納税）及び地方公共団体補助金	383.20
一般寄付金	22.29
特別寄付金	291.44
現物寄付	596.89
その他	68.51
ショートプログラム（サマースクール・ウィンタースクール・ISAKx）	50.84
雑収入	17.67
教育活動収入計	**2,342.43**
人件費支出	486.71
教育研究経費支出	688.76
奨学費支出（本校生徒）	455.27
その他支出	233.49
管理経費支出	218.24
奨学費支出（サマースクール及び卒業生）	63.53
その他支出	154.71
減価償却	1.90
教育活動支出計	**1,395.61**
教育活動収支差額*	**946.82**

* 教育活動収支差額の内、3億4千2百万円を寄付基金（Endowment Fund）**へ移動
**当校は、中長期にわたり安定した奨学金制度を維持する目的で、毎年約2億円を寄付基金へ割り当てるよう最大限努めております。







ファウンダー及びカタリストサポーターの皆さまのご支援抜きにはこの学校は今ここにありません。心から感謝申し上げます。また、ふるさと納税や生徒への直接の奨学金、プロボノによるご支援、物資のご提供など、大勢の個人並びに法人の皆様にも、深く御礼申し上げます。

ファウンダー
（ご支援順）

谷家 衛
小林 繁肇・りん
髙橋 百合子
山本 公哉
柳沢 正和
青井 理香
立石 文雄
林 秀彦・三千代
河野 宏子
居松 秀浩
小澤（兼信）ふみ子
ネルソン ブライアン
小柴 正浩
小島 勝
吉野 永之助
加藤 元
井上 高志
田中 将太郎
村田 貴士ｷ
高野 真
夏野 剛
水谷 浩明
川田 尚吾
佐藤 輝英
松木 光平
出井 伸之
北城 恪太郎
井上 智治
伊藤 友則
山岸 広太郎
エアン ショー
宮澤 栄一
中島 周
小泉 泰郎
一般財団法人 小川奨学財団
衣畑 秀樹
三宅 伊智朗
本庄 竜介
鈴木 エドワード
菅原 勇一郎
辻本 春弘
堀江 伸ｷ
髙山 健
佐浦 弘一
公益財団法人 石橋財団
佐護 勝紀ｷ
岩倉 正和
神山 治貴
小林 正忠
小林 一俊
マニヤン ジャック・麻里子
加治ファミリー
佐藤 茂
武田薬品工業株式会社
長谷部 泰三
奥本 真一郎
福武 純子
本多 均
小泉 洋二朗・光美
安東 泰志
有田 浩之
岩崎 俊男・美紀子
武田 洋子
山口 典子
安渕 聖司
木村 新司
蓑田 秀策
氷室 利夫
一般社団法人 野中インスティテュート・オブ・ナレッジ
株式会社 ホッピーミーナ
岡田記念会
川鍋 一朗
諸藤 周平
三宅 卓
ユナイテッド・マネージャーズ・ジャパン株式会社
永瀬 昭幸
髙井 洋子
末広 真樹子
藤武 慶三
吉澤 信司
内山 幸樹
分林 保弘
俞 梅
藤武 貴尚
古川 淳
島田 亨
佐山 展生
柏木 斉
吉田 あや子、佐々木 寛・雅子
施 芝
マクナーニ ポール・真樹
川村 隆
米日財団
藤田 恭嗣
増田 宗昭
畠山 康・麻紀子
池田 祐久
角川 歴彦
青山 健

カタリスト・サポーター
（ご支援順）

真鍋 康正
馬場 功淳
大下 悟
孫 小蕾
ゴー ユーリン
YKK Holding Asia Pte Ltd.
田中 剛
藤森 義明
浜本（森）淳子
中村 春雄
小杉 明
塩田 元規
小佐野 保
大平 亮
公益社団法人リソー教育岩佐財団
公益財団法人服部国際奨学財団
阿部 亮
菅原 貴弘
渡邊 洋行
志村 晶
山本 真一
有馬 友樹・有馬 誠
橋本 幸一郎
株式会社みずほフィナンシャルグループ
林 竜也・真理子
株式会社バイキング
玉川 憲
ゴヴァース 健二・淳
梅田 優祐
杉江 陸
小方 功
金子 英樹
池尻 由貴
井内 英夫・美佐子・郁江
田中 良和

本校奨学金

安東泰志奨学金
井内奨学金
伊藤友則奨学金
居松秀浩奨学金
木村新司・紗緒理奨学金
小杉明奨学金
ゴウ奨学金
佐藤茂奨学金
末広真樹子奨学金
福武純子奨学金
本庄奨学金
本庄照子奨学金
本多均奨学金
いちごアセット奨学金
ゴールドマン・サックス
YKKホールディング・アジア奨学金
W&M 太陽光奨学金

サマースクール奨学金

HSBCグループ奨学金
キャニオン・キャピタル・ジャパン奨学金
箴言16:16 奨学金
野村ホールディングス奨学金
モルガン・スタンレー
三井住友信託銀行奨学金

ゲストスピーカーセッション

株式会社エイブル

大学進学奨学金

日本財団奨学金
シェルビー・ディビス奨学金

プロジェクトサポート

株式会社みずほフィナンシャルグループ

コーポレート・サポーター

株式会社 LIXIL グループ
セコム株式会社
株式会社エアウィーヴ　ホールディングス
モリソン・フォースター外国法事務弁護士事務所
伊藤 見富法律事務所
TMI 総合法律事務所
IDEO Tokyo
パナソニック株式会社
マッキンゼー・アンド・カンパニージャパン
ベイン・アンド・カンパニー

（敬称略）

ご支援ありがとうございます。

様々なご支援のおかげで、在学中、生徒たちは各々の興味を深堀できるプロジェクトに取り組むことができます。その経験から大きな学びを得て卒業していった生徒たちのこれからがとても楽しみです。

卒業生の声



母国アフガニスタンの子供たちへ教育の機会を

(Ata, Class of 2017)

「UWC ISAKでは、教育が持つ力を目の当たりにできた。アフガニスタンでも勉強の大切さを十分理解していたが、UWC ISAKでの教育は、物事の考え方や捉え方を今までとは別次元で広げてくれ、人生を変えるような体験となった。」と語るAta。自分と同じような教育に出会ってもらいたい、という想いで、在学中に始めた母国アフガニスタンの子供たちに向けた教育プロジェクトは、今年で8年目を迎えました。2021年の首都カブール陥落により、一時プロジェクトは前途多難になりましたが、開催方法を変え、ジェンダーフリーで、家庭の経済的環境を問わず参加できる教育プログラムの構築に励んでいます。Ataは、立命館APUに進学し、卒業後東京にて就職。「日本で様々な人に出会え、助けてもらえた。日本に来れて教育を受けられたことに日々感謝している」と語るAtaの、これからのプロジェクトの行方から目が離せません。

VRを取り入れた新しいクラウドファンディング

(Mafer, Class of 2019)

ヴェネズエラでの恵まれない幼少時代を経てUWC ISAKで学び、教育が人生を変えてくれることを身をもって体験したMaferは、依然として厳しい環境下にいるヴェネズエラの子供達にも教育の機会を広げたいという思いから、クラウドファンディングプラットフォーム会社Yakeraと共に、新しくVirtual Reality Kitの開発を実現しました。これはクラウドファンディングキャンペーンに、360°カメラで撮った映像を併せて届ける手法です。寄付を募る側のありのままの様子を伝えられるという点が評価され、数々のスタートアップ事業賞を受賞しました。現在はYakeraのCMO（最高マーケティング責任者）に就任し、活躍しております。次の目標は、Yakera上で、銀行口座を介さなくても簡単にクラウドファンディングに参加できる方法を見い出すこと。彼女が開発したVirtual Reality KitをこちらのQRコードからご覧ください。



UWC ISAKでの学びは、私にとって将来の様々なドアを開いてくれました。

(Natalia, Class of 2022)



ここで得られた経験は一生忘れません。卒業しても勉学に励み続け、いつか私のような生徒をサポートできるような大人になりたいと思います。

森林プロジェクト





3期生から引き継がれた「森林プロジェクト」は今年で3年目。森林の重要性を見つめ、そして近隣の方々との交流を通じ、学びを深めたいという意図で立ち上がったこのプロジェクトは、キャンパスに隣接する約30ヘクタールの森のリース契約から始まりました。6期生によりツリーハウスが建築され、定期的に地域の方々との交流のスペースとして音楽会など開催されてます。

ウェブサイト芳名帳のご案内

全ご支援者の方々の芳名帳はウェブサイトに掲載させて頂いております。こちらからご確認ください。

https://uwcisak.secure.force.com/Donation/goencrm__webguestbook?cd=001

世界的なパンデミック、気候変動、ウクライナでの戦争とそれによる貿易や物流の問題など、自国第一主義と国際協調の間で世界は揺れ動いています。不透明な未来においては、自ら考え、違いを受け入れ、社会をより良い方向へと動かせるような若いリーダーの存在が求められているのではないでしょうか。「チェンジメーカー」を育てることがUWC ISAKの使命です。これからも一人でも多くの生徒に教育の機会を提供できるよう、最大限の努力をして参ります。今後も多様性を内包した環境を維持できるよう、ぜひふるさと納税を始めとした各種ご支援をご検討いただければ幸いです。

← ふるさと納税のご寄付はこちらから

学校法人ユナイテッド・ワールド・カレッジISAKジャパン
〒389-0111
長野県北佐久郡軽井沢町長倉5827-136
https://uwcisak.jp/jp/

UWC ISAK JAPAN